

小規模
特認校
指定校



松本市立安曇小学校

t_azumi_el@matsumoto-ngn.ed.jp

松本市立安曇中学校

t_azumi_jh@matsumoto-ngn.ed.jp

TEL 0263-94-2234

FAX 0263-94-2235

〒390-1502 松本市安曇964

松本市教育委員会

学校教育課：TEL 0263-33-9846

学校支援室：TEL 0263-33-4397

教育政策課：TEL 0263-33-3980

FAX 0263-33-3934・0263-34-3206

〒390-0874 長野県松本市大手3丁目8番13号

(大手事務所4階)

令和7年度転入学 学校案内

はじめに

安曇小学校、安曇中学校は、明治6年島々に音知学校、稲核に得善学校を始まりに、昭和42年4月稲核小学校、稲核中学校を統合し、安曇村立安曇小学校、安曇中学校として発足しました。その後、安曇村の松本市への編入に伴い、松本市立安曇小学校、安曇中学校として今日まで来ています。

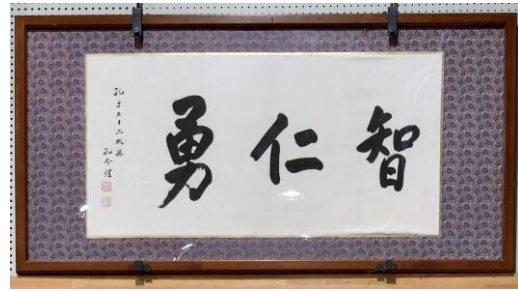
しかし、松本市との統合以降は、急激な児童生徒数減少により、集団的活動や、多様な学習活動に懸念が生じるようになってきてしまいました。そこで、令和3年12月に松本市教育委員会は、安曇小学校・安曇中学校を「小規模特認校」に指定し、令和4年度より松本市全域から児童を募ることにしました。

「小規模特認校」とは、今ある通学区は現状のまま、加えて松本市内全域より希望する児童生徒を迎え入れる制度です。本校は、安曇の自然豊かな環境の中でその特色を活かした教育活動を行っています。小規模少人数の特性を活かし、一人一人の個性を尊重しながら、元気にのびのびと学習できる環境にあります。学校は、特認校制度を活用して子どもを迎え入れることにより、小規模でも多様な学習活動を展開し、集団的な活動への広がりも期待しています。より地域とも連携を強め、特色ある教育活動を安曇校の魅力としてさらに充実させていきます。子ども達にとってより良い環境で、子ども達の個性を伸ばし、豊かな人格形成を実現する学校を目指し、取り組んでいます。

学校教育計画の概要

学校教育目標

『清らの心 と
ひとり立ちできる人間』



尾崎喜八書、「智仁勇」

- ◇「清らの心」とは、
わきまえ(智)、思いやり(仁)、いさぎよい(勇) 人であれ
- ◇「ひとり立ちできる人間」とは、
かしこく(智)、わけへだてをせず(仁)、つよい(勇) 人であれ

【令和6年度の重点目標】

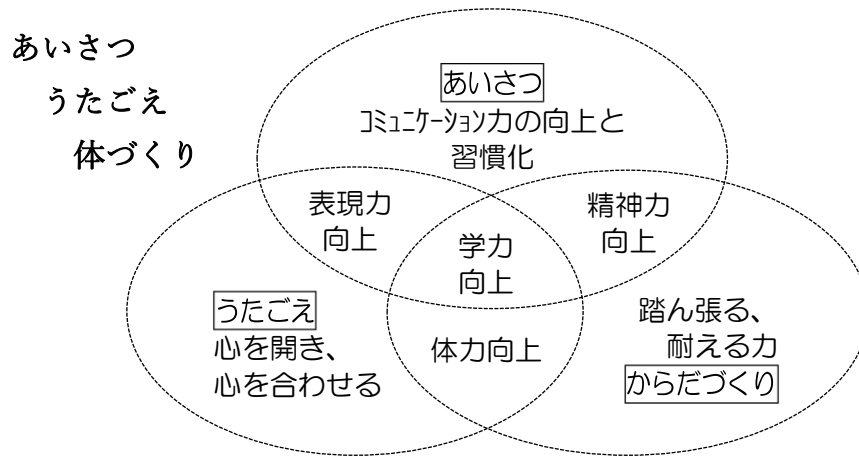
①学習指導重点

子どもが主体となって学ぶ授業

②生徒指導重点

多様性を包み込む学校・学級づくり

③心とからだの基礎づくり



3 学校教育目標具現のための学校教育改善

(1) 地域参画を意識した活動と成果の発信（生活・総合・キャリア教育）

子どもの頃に地域貢献活動に参加した経験がある子は、大人になった時、地域のために貢献しようとする傾向があると言われています。将来のための素地づくりを行います。

(2) 山～川～海を繋ぐ地域教材を活かした教育

上高地学習を中核としながら、山と川と海のつながりを身近に感じ、山をきれいに、川をきれいに、結果、自然を守る持続可能な社会の実現にむけた地域に根差す学習活動を行っています。

(3) 本校の目指す「安曇三ガク校」(学校・楽校・岳校)

①児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」を保障する授業(みんなが主役)

安曇学校…個の学びを大切に、学びによる達成感、実現感を得られる学校

②自尊感情・自己肯定感を高める楽しい学びのある学校の実現(みんなの居場所)

安曇楽校…自尊感情、自己肯定感を高め、自信を持てる、学ぶ楽しさのある学校

③地域の豊かな自然や文化をいかした授業(私たちの安曇・上高地)

安曇岳校…山岳観光地を活かした学習を展開し、地域を愛する児童生徒の育つ学校

4 小中連携教育と連学年での学びの推進

小中併設校である本校の強みをいかして、小中連携をさらに進めようと考えています。特に小学校高学年での乗り入れを増やし、多くの大人と関わる機会を増やすことで、中1ギャップを埋める効果もあると考えています。また、TTによる支援を入れることにより、子ども達の困り感の軽減をはかっています。

【中学校専科教員の小学校乗り入れ】

【小学校教員による中学校への学習支援】

【小中合同の行事】

【その他の活動連携】



本校の特色ある教育活動

① 児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」を保障する授業（みんなが主役）

安曇学校…個の学びを大切に、学びによる達成感、実現感を得られる学校に

少人数学習

令和5年度本校の児童生徒数は、小学校32名、中学校20名の全校で52名程の小さな学校です。各学年1クラス、3名から8名ほどの学級規模です。

学年に応じた教科指導の必要な時間は学年で、ある程度の人数規模で集団による学習が必要な時には連学年で行うことにより、小規模の中にも多様な学習形態を取り入れ、連学年二人担任で連携して学習に取り組んでいます。

小中併設校としての強み

本校は、小学校と中学校が同じ施設内に併設されており、特別教室は小中共用の施設となっています。校舎では小学生と中学生が同じフロアを行き来し、9年間を過ごします。常に小学生は中学生の姿を見ることとなります。小中合同行事も多く実施しています。これは、中1ギャップの解消にもつながっていると考えています。

小学校では、体育・音楽・図工等の教科で、連学年による合同授業を行っています。更に中学の先生による、小学校への乗り入れ授業を実施し、一部で教科担任制を実施しています。専門教科の多くの先生方に教えていただくことで、学習効果を上げています。

安曇タイム

小学校では、時間割以外に、余剰で活動できる時間を設け、個別学習や、共同的な学習、行事の準備など、教科学習の時間ではできない学習を進める時間を設け、基準時間以上に学ぶ時間を取り入れています。中学校では、生徒会活動の自主活動の時間にもあて、主体的な活動を行えるようにしています。

ICTを活用した個別学習

GIGA スクール構想により一人一台パソコンが実現。調べ学習や、まとめ学習、クラスメイトとの意見共有等、黒板中心の学習から、パソコンを併用した個別学習を推進し、支援の必要な子へより個別支援ができるようにしています。

School e-Library の活用

各自のペースで学習ができるように、その子にあった個別の学習を、ICTを利用して行い、不得意を解消しようと取り組んでいます。

生活科



学級活動



小中学生が同じ学び舎で生活



ICTを利用した学習

② 自尊感情・自己肯定感を高める楽しい学びのある学校の実現（みんなの居場所）

安曇楽校…自尊感情、自己肯定感を高め、自信を持てる、学ぶ楽しさのある学校に

◎学校教育目標実現のための心とからだの基礎づくり

あいさつ

語先後礼を基本に、礼で始まり礼で終わる、相手意識を重んじた挨拶を大切にしています

うたごえ

少人数ではありますが、一人一人が自信をもって歌える学級づくりや関係づくりをしています。秋の安曇祭では、音楽会を全校9学年で行い同声から混声まで広い音域の歌声を鑑賞し合います。

体づくり

病気に負けない体づくり、一人休むだけで活動に大きな影響を及ぼす小規模校だけに、学校を休まず元気に登校できる体づくりを継続的にしています。

全校運動会、遠足、走る会、上高地清掃遠足、安曇駅伝、乗鞍登山、部活動（卓球、バドミントン）



◎願いを実現する「児童会」「生徒会」活動

「児童会活動」

集会活動を基本に、高学年が計画し、全校が関わる活動を大事にしています。生活をより良くするための集会を企画し、実践しています。（衛生、体力づくり、環境等）

「生徒会活動」（本部、学級、文化厚生）

生活をより良くするための活動を企画しています。継続的にボランティア活動として地域のゴミ出し活動を行っています。

全校が仲良くなれる活動を継続的にを行っています。



◎多様な考えに触れる交流学习

「山3校（大野川・奈川と）交流学习」「保小交流」

山間地の小規模校同士が、多様な学習の機会を掴むために、ICT機器を活用したり、参集したり、修学旅行や登山、臨海学習、社会見学等を合同で行っています。



③ 地域の豊かな自然や文化をいかした授業（私たちの安曇・上高地）

安曇岳校…山岳観光地を活かした学習を展開し地域を愛する子の育つ学校に

上高地は本校の学区であり、旧村の時代から上高地と小中学校とは密接な関係をもってきました。上高地徳本峠山行、ウエストン祭等、公民館行事にも積極的に子どもたちは参加し、歌を歌ったり、献花をしたりして、地域も子どもたちの位置づけを大事にしています。上高地は本校の宝でもあり、豊かな学習材として位置付けています。

【小学校】：上高地学習

小学校では、上高地や地元の豊かな自然や文化を素材とした上高地学習を推進して、探究的な力をつけるとともに、地域への愛着心や郷土愛を育成します。

1,2年：**上高地ってどんなところ？**

「自然散策」陸たんけん・川たんけん 等



3,4年：**上高地の魅力・発見**

上高地を守る人々

郷土（安曇・上高地）の発展に尽くした人々 等



5,6年：**上高地の課題**

上高地観光とダム電源開発 上高地の成り立ち、地域とともに生きる安曇 等



【中学校】：上高地・安曇学習、キャリア教育

中学校では、上高地や地元の豊かな自然や文化と共に生きる人々に着目し、キャリア教育の視点から地域を素材とした上高地・安曇学習を推進し、探究的な力をつけるとともに、地域への愛着心や郷土愛を育成します。

- 1・2年：松崎町訪問（旧姉妹都市との交流）松崎中学校と山の学校と海の学校との交流、山と海を繋ぐ海洋教育の発展。
夏休みは松崎町からの訪問を受け入れ、安曇乗鞍のフィールドで交流します。
- 1・2年：涸沢・奥穂岳登山（地元の魅力再発見）
北アルプス最高峰を目指し、郷土を誇りに愛する心を育てる。
地域の山岳会と連携し、上高地学習の集大成として地元の最高峰に挑戦します。
- 3年：キャリア進路学習（安曇と松本及び中信地区を繋ぐ）
地域出身者による進路講話、高校の実際を知る進路講話等。
「高校とは」「進路とは」。自分にとって必要な知識を得るための学習です。

<キャリア教育との関連>

- 地域で働く方々との交流、講話、キャリア学習
- 安曇地区、上高地での職場体験学習



松本市立安曇小中学校までの交通案内



お車の方

JR 松本駅より乗鞍上高地方面
国道 158 号線で約 30 分

公共交通機関の方

JR 松本駅より (約 46 分)

アルピコ交通鉄道上高地線
新島々駅乗換 (約 7 分)

乗鞍上高地方面行バス (安曇小中学校前下車)



HP <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/197/2175.html>
標高 751.5m 北緯 36 度 10 分 57 秒 東経 137 度 47 分 2.1 秒